

Rotary



宮崎南週報



ロータリークラブの活動を楽しもう！

宮崎南ロータリークラブ
会長 川村雅宣

第2067回例会 2021.3.15

会長／川村雅宣 幹事／島田博良
副会長／戸高勝利 会報／開地俊昭
例会場／宮崎観光ホテル
ソング／それでこそロータリー

会長挨拶

川村雅宣会長



今回はパナソニック(株)の創業者。松下幸之助のお話をしたいと思います。

9歳にして親元を離れ単身大阪に丁稚奉公に行き商いに目覚めます。仕事も早く、金銭感覚にも長けていて、奉公先では可愛がられたそうです。電車が電気で走るのを見て、これからは電気の時代が来ると思い電気店に見習いに行き、それから独立をして会社を大きくしていくわけですが、1934年の室戸台風で工場が甚大な被害に見舞われます。その時、松下幸之助が従業員に「苦しい事はあるが、苦しむ事もいい事だ。しかし、最後には何かしらの境地を開いてもういっぺん立ち上がらなくてはいかん」と諭したそうです。

松下氏の『成功するためにには 成功するまで続ける事である』という有名な言葉があります。その裏には「困難こそ発展の好機」つまり困難を困難とせず、思いを新たに決意をかため、困難を飛躍のための足掛かりにする思で考えれば前に進む事ができる。悪い方に考えればせっかく出る知恵も出なくなる。という事です。

コロナウィルスの感染拡大によって、働き方を変え・生活を変え・困難な経営を余儀なくされた企業も多い事と思います。いろいろなアイデアを出しやり方を変え創意工夫をし、そこを発展の好機ととらえる企業こそが成長し、生き残れるのではないかと思います。

ロータリー情報

●広報委員会 (Public Relations Committee)

クラブ奉仕部門の1つの委員会で、ロータリーの歴史、綱領及び規模を一般に知らせる宣伝方法を考案し、実施することを任務とする。会員の中の新聞関係者や放送関係者の協力を得て充分なロータリーの広報に努めなければならない。

出席委員会報告

井上竜志委員長

出席状況

本日状況		前々回状況	
会員数	(49) 50名	会員数	(48) 50名
本日欠席者数	17名	ホームクラブ出席者数	33名
本日出席者数	33名	メークアップ数	1名
出席率	67.34%	修正出席者数	34名
		修正出席率	70.83%

●前々回メークアップされた方／村野 裕会員

ニコニコ
BOX 0件
累計 42,000円

募金箱 5,559円
累計 123,143円

幹事報告

島田博良幹事



国際ロータリー第2730地区の2021-22年度地区大会の日程変更について。

2021年11月5日（金）～7日（日）の開催予定でしたが、コロナウィルス感染が終息に至っておらずワクチンの普及状態も進んでいないことから、2022年5月20日（金）～22日（日）へ変更いたします。会場は変更なく、都城市総合文化ホールになっています。

つづきまして、2020年2月29日開催予定でしたロータリーデーでの講演会「鹿児島歴史の旅講演」ですがコロナの影響で中止となりましたが、鹿児島城西ロータリークラブの三木靖名誉会員による講演会がYouTubeにて視聴できることになりました。興味のある方はチラシがありますので、事務局にご確認願います。

親睦委員会

安川 潔委員長



蓮田ロータリークラブ
創立50周年記念式典のご案内

さて、皆様もご存知の通り、当クラブの姉妹クラブであります蓮田ロータリークラブ様が本年6月に創立50周年を迎え、記念式典

を開催されます。つきましてはたくさんのメンバーで御祝いに駆けつけたいと考えております。

日時 2021年5月16日（日）

式典開催 午後3時30分

懇親会 午後5時30分

会場 ロイヤルパインズ浦和4階 ロイヤルクラウン

★宮崎南ロータリーゴルフコンペ

1位 鈴木 健会員

2位 川村雅宣会員

3位 高山周栄会員

本日のプログラム

会員卓話

日野郁子会員



会 社

ドライアイス イベントが無くなったので減った。ワクチン輸送にドライアイスという情報が有りましたが、国

が決めることで ナシ 仕方ない。

氷 コロナ影響大。今まで、街に出ることは余り無かった私ですが、毎日街の氷屋に出る中で、いろいろな事を目の当たりにしています。人に対する良い悪いが違ってきました。

接待を伴う店に卸している業者

補助金、給付金 ナシ

私ごと

2月に長女家族が帰って来ました。婿がドライの方を手伝ってくれることになりました。関東から帰ってくるということで、どうしたらしいのか、何が正しいのか分かりませんでした。もしも!!という事を考えてしまい、今までに味わったことのない恐怖がありました。

関東と宮崎の感覚の違いを感じました。「県外の人と接触したため感染した。」とか聞きましたし、だけどかわいい孫です。今雇っていないだから、いいのではないか。

だけど次女は医療従事者です。私が孫に会ったら次女はうちに帰って来れない。

だけどうちでは氷屋で県外の人が来てくれないと、やっていけない。二週間どうしたらしいのだろうか？

二週間会わなければいいのだろうか？ PCR検査は受けさせたらいいのだろうか？ いつさせたらいいのだろうか？ 帰って来る孫だけ受けさせて、私はいいのだろうか？

ずっと前からこの2月に帰って来ることは決まつてました。

楽しみに楽しみにしてたのに、きつかったです。やっと二週間経ち、ホッとしています。

これからは楽しみたいと思います。

免疫力をつけといたらコロナに負けないと言われています。免疫力の有る食べ物を飲んだり食べたりして頑張りましょう。私も頑張ります。

また、街に出られたら声かけてやって下さい。

寺村明之会員



皆さんこんにちは。久々の卓話ということで、何を話そうかと悩みましたが、今日は少しカンテレ時代の思い出を聞いていただこうと思います。スライドなども用意したかったのですが、思うばかりで時間が無くなり申し訳ありません。

さて、私、5年前宮崎に来て欲求不満になったことが一つあります。それは今まで仕事やプライベートで、月に2本、多い時で5本くらい観ていたミュージカル、演劇、歌舞伎、落語、他、そういった舞台物が生であまり観られなくなってしまったことです。

以前にも卓話でお話ししましたが、テレビ局に入社したものの、報道やバラエティ、ドラマ、といったオンエアに関係する仕事には携われず、関西テレビでの38年間の内、30年は番組を売る、CM枠を売る、ということが中心でした。ただ38年の内8年間は、事業局というところで、イベントの仕事に係わることができ、私の人生の楽しみの一つを見つけることができたと思っています。事業局に異動したのは40歳で、どちらかというと管理的な立場でイベントなどに係わることになりましたが、現場を知らないといけないということで、1年くらいはほとんど休み無しですべてのイベントや舞台に顔を出し、名前を憶えていただき、雰囲気を勉強しました。

今日は事業局での仕事で印象に残った思い出話を

いくつかしようと思います。少し自慢話も入りますがご容赦ください。

まずは、先程申しました40歳の時、25年近く前ですが、営業の外回りから突然事業局へ異動、と辞令が出た後の話。当時関西テレビでは、「ユーミンのシャングリラ」、というコンサートをやっていました。これは今では考えられないことですが、当時テレビ局はまだまだ利益を出していく、記憶では総経費約30億以上を掛けて関西テレビが企画制作し、結果それを超える売上を上げたコンサートで、大阪はもちろん、仙台東京名古屋広島福岡と展開、コンサートを行いました。ロシアからサーカス団やシンクロナイズドスイマーを参加させたユーミンとのコラボコンサートでした。リハーサルも1か月以上にわたりどこかの体育館を借りて行われました。下手をすると10億以上の赤字が出てもおかしくないイベントでした。それが許される環境だったということですが、異動して初めて大阪城ホールでこのコンサートを見て、今までひたすら地道に電波を売ってきたけれど、うちの会社にはこんな素晴らしい仕事をしている部署があることに唖然としました。その時は本番に漕ぎ着けるまでの苦労をほとんど知らなかったので、華やかなイベント業界にすっかり魅了されてしまいました。その時は、この後事業局で多くの苦しみに出会うことは想像していませんでした。後で出会う苦しみについては、今度一献やった時にお話しします。今日はいい思い出のみにしておきます。

そして、同じころ企画が立ち上がっていたのは、アイルランドの伝統のタップダンスとケルトミュージックをすごいスケールで展開する「リバーダンス」です。イングランドに制圧されていた時代に、踊っていることが悟られないようにしてまで踊っていたのがこの伝統のアイリッシュダンスです。その頃エンタメ業界では盛んにブロードウェイミュージカルなども招聘されており、このリバーダンスも東京のプロモーターと激しく競合したのち獲得したものでした。「リバーダンス」は冠協賛がネスレでしたが、営業時代に某広告代理店り組み、たまたま自分でセールスに成功したものです。そのため、スポンサーとリバーダンス側とのスポンサー契約の条件闘争の調整をやっていて、ア

イルランドのダブリンに2回行きました。1回目は、スポンサーに何ページのプログラムのスペースを割けるかという話合いが暗礁に乗り上げ、そのためだけにダブリンにリバーダンス側のエグゼクティブプロデューサー：パットフォークナーに会いに行き、得意の夜の寝技を仕掛けました。テンプルバーという、パブが並んでいる地区で、彼とギネスをかなり飲みました。アイリッシュウイスキーも飲んだと思います。アイリッシュミュージックがガンガンかかるパブで、もちろん生演奏ですが、ネスレ用に1ページしか広告スペースをくれなかつた彼に「1ページではなく2ページくれ。Other wise I will be killed.」と迫り、日本へ帰りましたが、「2ページ差し上げる。」というメールを見た時には本当に嬉しかったです。たった広告2ページのためダブリンに行った日本人は私くらいではないかと思います。2回目はスポンサーを連れていきました。アイルランドの風景や人々に触れ魅了され、死ぬまでにもう一度行きたいと願う場所です。リバーダンスダブリン公演はもちろん、アイルランドの美しさは忘れられません。教会の十字架に○が印象的でした。

また、強烈なインパクトを受けたのはやはり、中村屋の「平成中村座」です。大阪招聘2回目以降は大阪城西の丸庭園で開催ましたが、第一回はカンテレ裏の扇町公園でした。あっという間に芝居小屋が経ち、天満扇町に江戸時代が突如再現されました。演目は確か法界坊と夏祭浪花鑑、今は亡き先代中村勘九郎その後勘三郎が、舞台狭しどろか、浪花鑑では最後のシーンで舞台の後ろが空き、中村橋之助後の中村芝翫が公園中を走り回って逃げるという素晴らしい演出でした。公園を走って行く二人を、私も走って警備したことは懐かしい思い出です。天神橋筋商店街や水掛け不動尊のお練りで色んな役者さんと歩いたこと、難波の船着場から船乗り込みをしたことも貴重な経験でした。ここから私の歌舞伎好きは始まりました。中村屋!成駒屋!と、大向さんと一緒に声を掛ける日が待ち遠しい今日この頃です。食わず嫌いの方も、是非一度歌舞伎を観てみてください。きっとはります。

そして忘れられないのが、当時劇団四季が専用劇場として計画していた京都駅の京都劇場。カンテレに手伝ってほしいと依頼が来て、現場の社員は忙しくて誰

も手を上げてくれないので、私が担当することになりました。当時浅利啓太とフジテレビから来ていたカンテレの社長が懇意で、お鉢が回ってきました。柿落としの演目は「オペラ座の怪人」、確か元旦が初日で、パーティーはどうする?芸者を呼ぶ?どこの予算?招待客の仕切りは?など、年末の忙しい時に疲れて死にそうだった記憶があります。その頃の四季の広報担当責任者が、現社長の吉田智譽樹氏で、現在の宮崎公演のご縁に繋がっています。今回のコーラスラインの中止は本当に残念でした。もし本格的ミュージカルを初めて観る、子供に観せたい時などは、四季から入ると入り易いと思います。特に美女と野獣がお奨めかと思います。

ミュージカルと言えば、パルコ劇場プロデュースの真田広之、松たか子、主演、「オケピ」の話もしたいのですが、他に話したいこともあるのでまたの機会にします。

落語の話もしておきましょうか。私はご存知のように関西人で、正直聞くなら上方落語、笑うなら吉本新喜劇、泣くなら松竹新喜劇、笑点は観る価値無し、などと思ってきました。その気持ちを覆してくれたのが、立川流の落語。談志師匠は食わず嫌いでしたが、弟子の談春師匠の落語「芝浜」、そしてその兄弟子志の輔師匠の「中村仲蔵」「柳田格之進」、等を仕事で生で聞き、完全にはまりました。中身は私が説明するより一度聴いてみてください。聞き終わったときに、舞台に登場人物が見えるインパクトがあります。私が一つ誇りにしている事をお話ししておくと、実は志の輔師匠とも談春師匠とも、時々ゴルフをするのですが、ある日千葉の東急セブンハンドレッドクラブで志の輔師匠とゴルフをしました。よもやま話をしながら回って、何の拍子にか、東急スリーハンドレッドクラブの話になり、経済界や文化界の重鎮しかメンバーになれない素晴らしいゴルフ場だということで、行ってみたいですねと話していました。私が何気なく「ところで不思議な話をいいですか。スリーハンドレッドクラブはいつ行っても人が居ないのは何故か知っていますか?」と聞くと、「いや、知らないねえ。」との答え。「実はですね、メンバーの半分がお歳を召して入院しているからです。」というと、天下の志の輔

師匠が「ガハハハハーあっ」と大笑いされ、フェアウェーに転がったのです。江戸の落語の大家を笑わせて、大変いい気分になったものです。

お話してきましたように、大阪や東京など、劇場その他で数々観たものは印象的で私の楽しみの世界は広がりました。ミュージカルと同時に、いわゆる、演劇ストレートプレイと言いますが、渋谷パルコ劇場などで観てたまらく好きになりました。ミュージカルでは若き日の演出家宮本亜門、当時劇団四季の石丸幹二、高校生だった森山未來、演劇では佐々木藏之介や吉田鋼太郎、等々、若い頃から、あるいは名も無い頃から観てきた人たちが活躍する今の姿を見ると本当に自分のことのように嬉しく感じます。

話は尽きませんが、他にも岸谷五朗と寺脇康文の地球ゴージャス、古田新太の劇団新感線、東宝ミュージカルレミゼラブル、他、皆さんにいっぱい観て欲しいものがあります。今度一献やりながらまた語らせてください。

今日の話は来週皆さんに週報で配られますが、もしお時間があれば演目や役者、アイルランドのことなど是非ググってみてください。